



行政

観光文化スポーツ部 誘客推進課
主査 長崎 弥生

◎ 経歴（採用19年目）

2022年度～ 観光文化スポーツ部 観光振興課

⇒ 2023年度 誘客推進課へ課名変更

2020年度～ JR東日本派遣（観光文化スポーツ部 観光戦略課 所属）

2019年度～ 秋田地域振興局 総務企画部 地域企画課

2015年度～ 観光文化スポーツ部 文化振興課

2012年度～ 東京事務所 企画政策課

2011年度～ 鹿角地域振興局 農林部 農業振興普及課

2009年度～ 鹿角地域振興局 農林部 農林企画課

2006年度～ 生活環境部 環境管理室

Q 現在どんな仕事を担当していますか？

観光キャンペーン実施に伴うポスター・パンフレットの制作、観光情報サイトの管理、広告配信など秋田への観光誘客に向けた各種企画・調整を行っています。観光業務は、様々なジャンルの方が事業に携わるためとても刺激になります。また、自分で調整した企画が成果物として世の中に発出され多くの方に見ていただけるのは嬉しいです。

Q これまで特に印象に残っている経験は？

印象深いのが、2018年度文化振興課在籍時に、東京都と連携した「東京キャラバン」という事業で横手市で舞台公演を行ったことです。なまはげ、竿燈、民謡といった県内の出演者や会場手配などを担当しましたが、著名な演出家やアーティストなど多くの方が関わった事業でもあったので調整に苦労しました。大変な場面もありましたが、一流の人たちの仕事を間近に感じることができ、様々な人たちの協力で完成した舞台公演は素晴らしく、感動しました。

Q ワーク・ライフ・バランスは取れていますか？

テレワークが県庁にも導入されたのは大きな一歩だと思います。テレワークと休暇をつなげて、時間を有効に活用することができるようになりました。また、福利厚生制度が整っていることにも助けられています。異動のため、東京から秋田へ引っ越ししなければならなくなった年度末に、家を探さずに職員公舎に入居できたことはありがたかったです。

Q これからチャレンジしたいことや今後の目標を教えてください。

気がつくと入庁から19年目となり、課の中でも後輩も多くいる立場となっていて、本当に驚いています。これまで自分が先輩に教えていただいたことを、後輩に伝え、組織として成長していけたらいいと思います。県庁の職務分野は幅広く、様々なご意見を頂戴する組織でもあるため、改めて自分の仕事に責任を持って真面目に業務を行っていきたいです。

＼ 県職員を目指している方へメッセージ！ ／

秋田県庁は3～4年で異動があるため、様々なことにチャレンジできる職場です。異動すると、転職かと思うくらい全く異なる分野に携わる場面もありとても新鮮です。学生時代は県外にいたため、地元の秋田に戻って就職することに対して、これでよいのかという不安もありましたが、県庁には秋田県内だけでなく東京などの県外の事務所や民間企業との人事交流もあり、幅広い分野で仕事ができている。自分の成長を感じられる職場だと思います。